

第四十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第八號

大正十二年十二月二十一日(金曜日)

午前十時十五分開議

議事日程 第八號 大正十二年十二月二十一日

午前十時開議

第一 帝都復興計畫法案(政府提出)

第一讀會

第二 復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券

ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第三 震災善後公債法案(政府提出)

第一讀會

第四 大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル件)

(衆議院送付)

會議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

昨二十日可決シタル議員石谷傳四郎君ニ對スル弔辭ハ即日之ヲ贈レリ

同日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

大正十二年勅令第四百十二號

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル件)

帝都復興計畫法案

復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案

震災善後公債法案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ承諾スヘカラサルモノト議決シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

臨時物資供給令

臨時物資供給特別會計令

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、山脇玄君病氣ニ付キ大正十二年勅令第四百十號承諾ヲ求ムル件外一件ノ特別委員辭任ノ旨ヲ申出ラレマシタ、之ヲ許可イタスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、其補闕トシテ江木翼君ヲ指名イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、帝都復興計畫法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

帝都復興計畫法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

特別都市計畫法
帝都復興計畫法

〔小字ハ衆議院ノ修正ハ同削除ノ符號ナリ〕

第一條 本法ニ於テ復興計畫ト稱スルハ東京及横濱ニ於ケル都市計畫ヲ謂フ

第二條 行政官廳復興計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三條 行政廳又ハ公共團體カ施行スル土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法

第四十三條ノ規定ニ拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

前項ノ土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第三十一條ノ規定ニ拘ラス換地處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 土地區劃整理ヲ施行スル爲メ土地區劃整理組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テ土地所有者同意ヲ爲スニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ借地法ニ謂フ借地權者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス前項ノ借地權者ハ登記ナキモ耕地整理法第二條ノ二ノ規定ニ依リ前項ノ組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

第四條 行政廳又ハ公共團體カ
前條第一項ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ設計、換地處分及第七條第一項ノ補償金ノ配當ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者及借地法ニ謂フ借地權者ヲ以テ組織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

第五條 第三條第一項ノ土地區劃整理施行ノ爲必要アルトキハ換地豫定地ヲ指定シテ土地區劃整理施行地區内ニ存スル建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ少クモ三月前ニ所有者及占有者ニ其ノ旨ヲ豫告スヘシ
所有者又ハ占有者カ前項ノ移轉ニ因リテ損害ヲ受ケタルトキハ其ノ通常受クヘキ損害ニ限リ之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償金ハ補償審査會之ヲ決定ス
耕地整理法第二十五條並土地收用法第八十二條第一項及第二項ノ規定ハ第二項ノ規定ニ依ル補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第六條 第三條第一項ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路、廣場、運河其ノ他ノ公共ノ用ニ供スヘキモノト爲リタル土地ハ其ノ施行ニ要スル費用ヲ負擔スル國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入ス
前項ニ規定スル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル其ノ編入ニ關シテモ亦同シ

第七條 第三條第一項ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ土地區劃整理施行地區内ニ於ケル施行後ノ宅地ノ總面積カ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割以上ヲ減少スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付スルコトヲ要ス
前項ノ宅地トハ勅令ニ依リ公共ノ用ニ供スル土地ト定ムルモノ以外ノ土地ヲ謂フ

第五條第三項及第四項ノ規定ハ第一項ノ補償金ニ關シ之ヲ準用ス
第八條 都市計畫法第十三條第二項ノ規定ハ第五條第一項ノ土地區劃整理ニ之ヲ準用ス

第九條 補償審査會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬ス
補償審査會ハ會長一人及委員十四人ヲ以テ之ヲ組織ス
會長ハ關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請

ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

- 一 關係各廳高等官 三人
- 二 關係府縣高等官 二人
- 三 關係府縣市參事會員 六人
- 四 學識經驗アル者 三人

前項第二號及第三號ノ規定ニ依ル委員ハ關係府縣市ニ關セサル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス
補償審査會ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第十條 都市計畫法第二十三條乃至第二十六條ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ之ヲ準用ス

附 則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣伯爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵山本權兵衛君) 諸君、唯今、議題トナリマシタル帝都復興計畫法案ノ理由ニ付キマシテ大體ヲ申上ゲマス、今回ノ大震災ノ結果ヲ顧ミマスルニ、此際、帝都ノ復興ニ關スル都市計畫ヲ確立シ、其事業ヲ遂行スルノ緊要ナルコトハ言ヲ待タザル所デゴザイマス、都市計畫ノ標準スベキ法制ト致シマシテハ、從來既ニ都市計畫法アリト雖モ、今次ノ如キ大震災ヲ豫想シテ制定セラレタモノニアラザルヲ以テ、此規定ノミヲ以テハ十分ノ運用ヲナスコト能ハズ、故ニ必要ナル規定ヲ補充スルノ緊要ナルコトヲ認メ、茲ニ本案ヲ提出スル次第デゴザイマス、而シテ衆議院ニ於テハ法案ノ議題……題名ヲ特別都市計畫法ト改メ、又組合ノ施行スル土地ノ區劃整理及補償審査會ノ監督機關ニ對シ二三ノ修正ヲナセリ、此修正ノ趣旨ハ、豫算案ノ修正ニ伴ッテ已ムヲ得ザルモノト認メ、政府ハ之ニ同意ヲシタル次第デゴザイマス、願ハクバ十分ノ審議ヲ遂ゲラレ速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告ニ依ッテ質疑ヲ許シマス、江木翼君〔江木翼君演壇ニ登ル〕

○江木翼君 私ハ都市計畫法ノ案ニ付キマシテ極メテ簡單ナル事柄ヲ一二箇條承ハリタイト思フノデアリマス、第一ニ承ハリタイトハ、我々將ニ都市計畫

ニ關シマスル豫算ヲ議定セムト致シテ居ルノデゴザリマスルガ、此豫算ノ中ニハ申ス迄モナク豫算ノ數字ノ目的トナツテ居リマスル事項ハ所謂都市計畫ナルモノガアルノデアリマス、市街ノ計畫、運河ノ計畫、公園ノ計畫、所謂都市ノ計畫デアリマス、此豫算ノ數字ノ目的トナツテ居ル所ノ都市計畫、或ハ法律の言葉デハナイカモ知レマセヌガ、都市計畫ト私ハ一應申シテ置カウト思ヒマスルガ、此都市計畫ナルモノハ、本法案ニ謂ッテ居リマスル所ノ都市計畫ナリヤ否ヤト云フ點ガ第一ニ承ハリタイ所デアリマス、今回ノ計畫ガ出來マシタル由來ヲ見マスルニ、政府ニ於テハ如何ニモ慎重ニ立案計畫イタシテ居ラレルヤウニ御見受ケ致スノデアリマス、先ヅ帝都復興ノ詔書ヲ奏請セラレ、之ニ依ッテ特別ノ機關ヲ設置セラレ、其機關ニハ國務大臣ノ禮遇ヲ賜ハル所ノ多數ノ學識經驗アル人ヲ網羅セラルル所ノ、所謂復興審議會ナルモノモアル、ソレカラ又樞密院ニ御諮詢ヲ仰ガレマシテ、出來マシタル所ノ復興院官制ナルモノモ出來マシテ、此所謂世評ニ上ボツテ居リマスル歴大ナル機關、此歴大ナル機關ニ依ッテ非常ニ慎重ニ審議セラレマシテ出來マシタルヲデス、更ニ復興參與ノ會議ニ付セラレ、更ニ又復興評議會ナル是亦朝野ノ名士經驗學識アル所ノ者、七十人、八十人ヲ集メラレマシタル所ノ大會議ヲ起サレマシテ、之ニ諮問セラレテ居ルノデアアル、更ニ固ヨリ唯今申シマシタル所ノ復興審議會ニモ諮詢ヲサレテ居ルヤウデアリマス、斯ノ如ク二重三重ニ審議ヲ盡サレマシテ、而シテソレガ洗練サレマシタルモノガ豫算案トナツテ此議場ニ現バレタノデアアル、其豫算案ニ現ハレテ居ル所ノ數字ノ目的ハ何デアアルカト云フト、例ヘバ二大幹線、品川カラ千住ニ至ル所ノ線トカ、或ハ九段カラ江東ニ至ル線トカ云フガ如キ線ヲ初メト致シマシテ、細細ト市區ノ計畫ト云フモノガ載ッテ居ルノデアリマス、此計畫ナルモノハデス、左様ニ鄭重ナル議ヲ經マシテ而シテ今ヤ將ニ本院ヲ通過セムト致シテ居ル狀態デアアルノデアリマスルガ、愈、是ガ通過ト云フコトニナリマスレバ、國民ノ代表者、國家ノ憲法上ノ機關ガ之ヲ議定スルノデアリマス、是程慎重ナル議ヲ重ネタモノデアリマスガ故ニ、無論私ハ是ハ確定的ノ都市計畫デアラネバナラスト、斯様ニ思フノデアリマスルガ、果シテ政府ノ御趣意モ所謂此法律案ニ謂フ所ノ都市計畫、或ハ都市計畫法ニ謂フ所ノ都市計畫ト云フモノデアルト御認メニナルデゴザリマセウカ、如何デゴザイマセウ、若シ政府ニ於テ左様デハナイ、是ハ都市計畫デハナイ、都市計畫法ナリ、或ハ此特別都市計畫法ナリノ所謂都市計畫ニ

ハアラズ、是ハ唯豫算ノ目的トナツテ居ル參考材料デアアル、斯ウ云フコトデアリマシタナラバデス、如何ナルモノニナルデゴザイマセウ、左様ニ鄭重ナル審議ヲ政府部内ニ於テモ重ネラレ、又兩院ニ於テモ鄭重ナル審議ヲ經マシタル所ノモノガ全ク反古デアアル、全ク參考材料デアアル、本當ノ都市計畫ハ又都市計畫法ニ依ッテ地方都市委員會、中央都市委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ確定スルモノデアアル、總理大臣ノ認可ヲ受ケテ確定スルモノデアルトナリマシタナラバ、殆ド我々ハ何ヲシテ居ルノデアアルカ、意味ヲナサナイコトニナルヤウニ思フノデアリマス、甚シキニ至ッテハ法律ニ依ッテ議定權ヲ有シテ居リマス所ノ都市計畫委員會ハ、兩院ガ議決イタシマシタル所ノ此豫算ト云フモノヲ全ク空ノモノニシ得ルコトモ出來ルト私ハ信ズルノデアリマス、左様ニ我々ガ議定シマスル所ノ豫算、其目的トナツテ居リマスル事項、此都市計畫ナルモノハ薄弱ナルモノデアリマセウカ、如何デゴザイマセウカ、法律上何等ノ根據ノナイモノヲ我々ハ今議シツツアル、斯ウ云フ有様デゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、此點ニ關スル政府ノ御所見ヲ先ヅ第一ニ承ハツテ見タイト思フノデアリマス、第二ニ承ハリタイト思フノハ、土地區劃整理ノコトデゴザイマス、土地區劃整理ナルモノハ私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、土地ノ利用ヲ増進スル爲ニ爲ス所ノ仕事デアアル、土地ノ利用、土地ノ利用ト言ハバ所謂私益デアアル、土地ノ利用其モノハ決シテ公益デハナイノデアリマス、間接ニハ公益ヲ増進スルコトモゴザイマセウガ、其本體ハ所有權ノ利用價格ト云フモノヲ増進シヤウト云フコトガ目的デアルト思フノデアリマス、現ニ行ハレテ居リマス所ノ耕地整理ノ方法ニ致シマシテモ、耕地ノ利用價值ト云フモノヲ増進シヤウト云フコトガ目的デゴザイマスルガ故ニ、耕地整理其モノハ決シテ公用デハナイノデアリマス、公益ノ仕事デハナイト見ナケレバナラスト思フノデアリマス、又法律ノ文言ニモ明カニ宅地ノ利用ヲ増進スル爲ニ、宅地トシテノ利用ヲ増進スル爲ニ土地區劃整理ヲ行フコトガ出來ルト云フコトヲ都市計畫法ノ十二條ニハ明カニ規定ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、然ルニデス、尙ホ斯ノ如キ此主トシテ私益、或ハ公益ノ……私ハ主トシテ、私益ト申シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、斯ルコトヲ行フ場合ニ、必要ガアル場合ニハ固ヨリ、或ハ道路デアルトカ、或ハ溝渠デアルトカ云フヤウナモノヲ付換ヲスル、付換ヲスル場合ニ於テハ前ニアッタ所ノ道路敷地ナリ、或ハ溝渠ノ敷地ト云フモノハ之ヲ民有ニ繰込ム、更ニ新シク出來タ所ノ道路ナリ、

溝渠ナリト云フモノハ之ヲ官有トスル、所謂交換ヲ許ス、是ハ耕地整理法ニモ認メ、從テ耕地整理法ヲ準用イタシテヤリマシタ所ノ土地區劃整理ニ於テハ明カニ認メテ居ルノデアリマス、即チ廢止シタモノニ代ルベキモノハ無償デ之ヲ國有ノ土地ニ編入ヲスルト云フコトハ明カニ致シテ居ルノデゴザイマス、所デ私ガ疑義ヲ懷キマスル點ハ今回ノ法案ニ於キマシテハ區劃整理ヲ行政廳ナリ若クハ修正案ニ依リマスル所ノ區劃組合等ニ於テ實行スル、斯ル行政廳、若クハ公共團體等ニ於テ區劃整理ヲヤル場合ニ於テデス、道路ヲ擴築ヲスル、道路擴築ト云フ如キコトハ區劃整理トハ關係ナイ問題デ、所謂都市計畫トシテ大イナル道路ノ擴築ガ出來ルノデアリマスルガ、之ヲ同時ニ實行スル爲ニデス、澤山ノ潰地ヲ要スルコトニナル、此澤山ノ潰地ガデス、若シ一割以上ニナツタ場合ニ於テハ、一割マデハ無償デ是等ノ土地ト云フモノヲ國庫ニ、國有ニ編入ヲスル、言ハバ沒收ヲスル、沒收ヲスルト云フ趣意ニ法律案ハナツテ居ルノデアリマス、此點デアリマス、私ガ御尋ヲ致サムト欲スル點ハ……斯ル所謂民有ノ土地所有權ヲ無償ニ國庫ニ沒收ヲスルト云フガ如キコトハ如何ナル根據ニ依ッテ之ヲナサルノデアアルカト云フ點ガ私ガ第二ニ承ハラムトスル點デアリマス、申上ゲマスルマデモナク所有權ノ規定ハ殆ド根本的ノ規定ガ憲法ニ掲ゲラレテアルト思フノデアリマス、此由來ヲ尋ネマスルニ、往昔ハ勝手ニ所有權ヲ或ハ領主ナリ、或ハ國家ナリ、或ハ寺院ナリガ沒收シタ、此公ケノ沒收ニ對シテ所有權ヲ擁護スルト云フコトガ、或ハ革命ノ目的トナリ、屢ニ變遷ヲ致シマシテ、遂ニ所有權ニ關スル根本ノ思想ガ出來、此思想ガ固ヨリ我國ノ古來アッタ思想ニ違ヒアリマセスガ、現レテ憲法二十七條トナツタト思フノデアリマス、從ヒマシテ憲法二十七條ノ書方ト云フモノハ他ノ臣民ノ權利義務ヲ認メタル書方ト根底的ニ書方ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、他ノ條項ニ依テ言ハバ、例ヘバ「日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ兵役ノ義務ヲ有ス」日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシト云フガ如キ法律アツテ初メテ是等ノ行爲ガ國家ニ出來ルト云フコトヲ認メテ居ルノデゴザイマスルガ、所有權ニ至ッテハ「日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵サル、コトナシ」、恰モ佛蘭西革命ノ當時出來マシタ所ノ權利宣言ノ言葉ヲ其儘用キテ居ルト言ッテモ宜シイノデアリマス、サウシテ第二項ニ「公益ノ爲必要ナル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依ル」元來、所有權ナルモノハ不可侵ノモノデアリ、公用徵收ト云フコトヲヤルニハ初メテ法律デ出來ルノデアアルゾ、斯ウ

云フコトヲ規定イタシテ居ルノデアリマス、而シテ其公用徵收ノ法律ハ土地收用法デアルトカ、或ハ徵發令デアルトカ、或ハ近頃出來マシタ所ノ非常徵發令デアルトカ云フモノニ至リマシテモ、特ニ目的ヲ定メ、或ハ國防デアルトカ、或ハ官廳ノ用デアルトカ、或ハ公益ノ爲デアルトカ云フ目的ヲ明示イタシマシテ、初メテ所有權ヲ徵收スルコトヲ許シテ居ルノデアリマス、而カモ其所有權ヲ徵收スルニ當ッテハ必ズ代償ヲ與ヘナケレバナラヌコトニナツテ居ルノデアリマス、私ハ我が帝國憲法ガ施行サレマシテ、未ダ曾テ代償ナシニ所有權ヲ沒收シタ例ト云フモノハ、犯罪ノ爲ニ所有權ヲ沒收スル場合ノ外ハナイト思フ、然ルニ茲ニ土地區劃整理ヲヤル場合ニ當ッテ一割ト云フモノハ取ルコトガ出來ル、實ハ私ハ恐ロシキ法律デハナイカト考ヘタノデアリマス、全ク所有權ニ對スル所ノ憲法ノ保障ト云フモノハ無クナツタヤウナ感ガ致スノデアリマス、露西亞ノ「ボルシェヴィーキ」ノ憲法ニ至リマス、イキナリ所有權ト云フモノハ剝奪シテ仕舞ッテ、無償デアアル、未ダ曾テ無償デ仕事ヲスルモノハナイト思ヒマスガ、露西亞ニ限ッテ無償デアアル、總テノ農地ナリ、工場ナリ、會社ナリ、銀行ナリヲ國家ニ沒收シタ、假令一割デアリマセウトモ、五分デアリマセウトモ、無償デ之ヲ沒收スルコトハ何トシテモ私ニハ理解ガ出來ナイノデアリマス、而カモデス、此一割ヲ沒收スルト云フコトハ、ドウナルカト申シマスルト、ナカ／＼莫大ナル徵收……沒收デテリマス、假ニ政府ガ計畫シテ居ラレマス所ノ區劃整理ノ仕事ト云フモノヲ、全部行政廳ナリ自治團體デヤルト致シマスルト、約七百萬坪……燒跡ノ七百萬坪ノ區劃整理ヲヤラレルト云フコトニナツテ居ルラシイ、七百萬坪ノ一割、七十萬坪ト云フモノハ沒收セラレ、假ニ坪二百圓、政府ノ單價ト致シテ居リマスル二百圓、是ハ甚ダ不當デアルト云フコトヲ傳ヘテ居ル人モアリマス、銀行ニ擔保ニナツテ居ル價格位カソナモノデアラウト云フコトヲ傳ヘラルル人モアリマスルガ、假ニ政府ノ單價ニ致シマシテモ一億四千萬圓ト云フ莫大ナル財產ヲ國家ハ無償デ國民カラ沒收スルコトニナルノデアリマス、若シ之ニ所謂傳ヘラルル如ク五百圓單價ニモシナケレバナラヌトナリマシタナラバ、三億五千萬圓ト云フ莫大ナル財產ヲ一舉ニシテ國家ノ有ニ移サウト云フ結果ニナルト思フノデアリマス、斯ノ如キ立法令ガ出來マスト云フコトハ、如何ニモ私ハ其根據ヲ知ルニ苦シムノデアリマス、或ハ言ハレルカモ知レマセヌ、區劃整理ヲヤレバ、必ズ其區劃ニ在ル處ノ地主或ハ借地權者ト云フモノハ非常ナル利益ヲ受クルノ

デアル、デアルカラ一割ヤソコラ取ッテモ差支ナイノデアル、是ハ實ニ私ハ驚キ入ルノデアリマス、區劃整理ヲ爲スニ當リマシテ、利益ヲ受クル地主ガアリマスレバ、所謂受益者ト云フモノガ其區劃整理ノ費用ヲ負擔スルノ義務

辯明ヲ得タイト思フノデアリマス、以上二點ニ付キマシテ、先ヅ以テ承ハッテ置キタイト思フノデアリマス

〔政府委員松本恭治君演壇ニ登ル〕

ガアルト云フコトハ、都市計畫法ノ定ムル所デアリマスガ故ニ、若シ非常ニ之ガ爲ニ利益ヲ受クル地主ガ有リマスレバ、ドシドシ其費用ノ全部若クハ一部ヲ其地主ニ負擔セシメラレテ差支ナイノデアル、左様ナ規定ガ別ニ在ルノデアル、何モ其土地ノ一割ヲ政府ガ徵收ナサルト云フヤウナ、或ハ自治團體ガ徵收スルト云フガ如キ規定ヲ設ケナイデモ、費用ヲ徵收シマスル方法ハ他ニ出來テ居ルノデアル、此規定ヲ準用サレマスルニ於キマシテハ、何等ノ差支ガナイノミナラズ、此規定デアリマスレバ、甚ダ其均衡ノ能ク取ラレタル所ノ處分ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマス、此修正案ノ八條ノ如キ方法ニ依リマスルト、ドウ云フ結果ガ出來ルカト申シマスルト、例ヘバ銀座通りナリ、或ハ日本橋通りナリニ面接シタル所ノ地區ガアルト致シマス、例ヘバコニ五百坪ナリ、一千坪ナリノ土地ヲ持ッテ居ラレル人ガアルト致シマス、此人ハドウデアアルカト云フト、銀座通りナリ、或ハ日本橋通りト云フモノハ、今回ノ地區計畫ニハアリマセヌガ故ニ、地區計畫ノ爲ニハ、何等利益ハ受ケルモノデナイ、土地整理ヲヤリマシタ所デ、サマデ大シタ利益ヲ受ケルコトモ望マレナイ、唯裏通りニ二十四間幅ノ大キナ通りガ出來ルヤウナ位ノモノデアリマス、然ルニ若シ一朝ニシテ、茲ニ區劃整理ノ組合ガ出來ルトカ云フコトニナリマスレバ表通りデアルト、裏通りデアルトヲ問ハズ、總テ組合ノ中ニ編入サレテ仕舞フノデアアル、サウシテ少クトモ一割ト云フモノハ、頭カラハネラレテ仕舞フノデアリマス、天引キニ取ラレテ仕舞フノデアアル、一千坪持ッテ居ッタモノハ、百坪ト云フモノハ、利益ヲ受ケヤウガ、受ケマイガ、時トシテハ損ヲ受ケルカモ知レナイ、受損者ニナルカ知レナイ、受損者ニナッテモ、一割ト云フモノハ天引サレルト云フ結果ニナリマス、何ト不公正ナ結果ニナルト思フ、之ヲ所謂衡平ト云フ觀念カラ考ヘテ見マシテモ斯ノ如キ方法ヲ執リマススト云フコトハ、甚ダ理據ヲ得ルニ難キコトノヤウニ思フノデアリマス、ソコデ先ヅ第一ニ私ハ斯カル方法ヲ執ラレルニ付キマシテ、何カ根據ガアルカ、私ハ憲法ノ規定ニ違背シテ居ル所ノ案デハナイカト實ハ極論ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、政府トシテハ何カ之ニ見ル所ガアッテ、斯ノ如キ所ノ案ヲ出サレタノデゴザイマセウカ、ソレ等ノ點ニ付テ明快ナル御

○政府委員(松本恭治君) 唯今ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、唯今ノ御質問ハ法律的ノ御質問ト拜承イタシマシタノデ、私カラ御答ヲ申上ゲル次第デゴザイマス、第一ノ御質問ハ、帝都復興ニ關シマスル豫算ト云フモノノ計畫ハ、即チ此總テ法案ニ依ル所ノ計畫デアアルカドウカ、若シ然リトスレバ、此計畫タルヤ、更ニ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ確定セラレルモノデアアルカ否ヤ、ト云フコトデアッタト伺ッタノデアリマスガ、是ハ左様デアルト申上ゲルノデアリマス、即チ豫算ニ計上サレテアル所ノ計畫ハ、此法案ニ依ル所ノ計畫デアアル、即チ其結果ト致シマシテ、都市計畫法ニ依ル都市計畫ニ外ナラヌノデアリマス、故ニ之ヲ確定スルニ方リマシテハ、更ニ都市計畫委員會ノ議ヲ經マシテ、主務大臣ガ之ヲ決定シ、内閣ノ認可ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、此帝國議會ノ議ヲ經タ後ニ於キマシテ、更ニ其事業ニ付テ色々ノ機關ノ決定ヲ要スルト云フコトハオカシイト云フヤウナ御疑問デアッタカト思ヒマスガ、是ハ毫モオカシイコトデハナイト思ヒマス、國費ヲ以テ斯ノ如キ多大ノ支出ヲナシマシテ事業ヲ營ムニ當リマシテハ、先ヅ帝國議會ノ協賛ニ依リマシテ、豫算ヲ得テ置クコトガ必要デアリマス、其豫算ニ依リマシテ行ハレル所ノ個々ノ計畫事業ニ付テハ、計畫法ノ定ムル所ニ依リマシテ、之ヲ決定スルト云フ次第デゴザイマス、是ハ從來、國費ヲ以テ都市計畫ヲシタ例ハナイヤウデアリマスルガ、公共團體ノ費用ニ依ッテヤラルル場合ニ於テハ、概ネ公共團體ノ豫算ガ定ッテ居リマシテ、後ニソレニ基イテ計畫事業ガ確定サレルコトニナッテ居ルノデアリマス、先ヅ豫算ナシニ此大キナル所ノ計畫ヲ確定のニシテ仕舞フト云フコトハ甚ダ不穩當ナ話デ、寧ロ豫算ヲ得テ而シテ後ニ具體的ノ計畫ガ確定サレルコトガ極メテ穩當ナコトデアルト思ッテ居ルノデアリマス、第一ノ御質問ハ、土地區劃整理ト云フコトハ、宅地ノ利用ヲ増進スル目的デアリマシテ、即チ主トシテ私益ヲ目的トスルモノデアアル、然ルニ此法案ニ依リマスルト、區劃整理ノ結果、一割マデノ宅地ノ面積ガ減少セラレマシテモ、何等補償金ナシニ濟マサレテ仕舞フ、即チ一割マデハ沒收セラレルヤウナコトニナル、其根據如何ト云フ御質問デアリマス、甚ダ御尤モノ疑ト思ヒマスルガ、實ハ此事ハ既ニ帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ制定セ

ラレ、且ツ現ニ施行セラレテ居リマスル都市計畫法ガ定メテ居ルコトデアリマス、都市計畫法ニ依リマスレバ、都市計畫事業トシマシテ土地區劃整理ヲ行フコトヲ得ルノデアリマス、即チ第十二條及第十三條ノ規定ハ之ヲ定メテ居ルノデアリマス、此場合ニ於キマシテハ、公用ニ供セラレル所ノ土地ガ、一割以上ニ上ボルヤウナコトガアリマシテモ、何等補償ヲ拂フト云フコトニナラナイノデアリマス、本法案ハ寧ロ之ヲ制限イタシマシテ、一割以上ニナッタナラバ補償金ヲ交付スルト云フコトヲ定メタノデアリマス、若モ唯今江木君ノ言ハレマシタヤウニ、此法案ノ定メテ居リマスル趣旨ガ、甚ダ不妥當ナモノデアルトシマスレバ、都市計畫法ハ一層不妥當ト言ハナケレバナラヌカモ知レナイノデアリマス、此法案ハ範圍ヲ限定シマシテ、一割以上ニ超過シテ、宅地ヲ濫ニ公用ノ土地ニ換ヘルコトガ出來スト云フコトヲ定メテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○江木翼君 御答ニ對シマシテ、簡單ナ一二ノ質問ヲ順次ニ致シテ見タイト思ヒマス、本案……豫算案ニ出テ居リマスル所ノ計畫ハ、即チ都市計畫デア、其點ハ明白ニ了承イタシマシタ、若シ果シテ左様デアルト致シマスナラバ、都市計畫地方委員會、若クハ中央委員會ニ於テ、帝國議會ニ於テ決定ヲ致シマシタ、議定ヲ致シマシタル所ノ計畫案ヲ否決イタシタ場合、是デハイケナイト言ッテ否決ヲスルカ、若クハ變更イタシタ場合ニ於テハ、政府ハ如何ナル措置ヲ執ラレルノデアリマスルカ、此點ヲ先ツ以テ承ハリタイ

〔政府委員松本丞治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本丞治君) 唯今ノ御問ニ御答イタシマス、都市計畫委員會ノ組織等ニ付キマシテハ勅令ヲ以テ現行ノ制度ヲ多少此點ニ付テ改メテ積リデハゴザリマスル、而シテ其結果ト致シマシテ、或ハ地方委員會トカ、中央委員會ト云フ言葉ハ此法案制定ノ上ニ實施セラルルニ當リマシテハ遠ツタ言葉ニナルカモ知レマセヌガ、何ニシロ、此都市計畫法ニ依リマシテ都市事業ヲ確定イタシマスルニハ、都市計畫委員會ノ議決ヲ經ルコトニナツテ居リマスルカラ、左様ナル、即チ否決トカ、變更ト云フ決議ガアリマスレバ、之ヲ實行スルコトハ出來ナイコトニナルノハ當然ト言ハナケレバナラヌノデアリマス

○江木翼君 否決若クハ變更シタ場合ニ於テハ實行ハ出來ナイ、サウスルト豫算ノ實行ヲナサラナイト云フ御趣意デアリマスルカ、若シ變更シタ場合ニ

於テハ其變更ヲ帝國議會ニ御諮リニナル御趣意デアリマスルカ、尙ホ其點ヲ……

〔政府委員松本丞治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本丞治君) 都市計畫委員會ノ議決ナルモノハソレノミニ依ッテ決定サレルノデハ勿論ナイノデアリマシテ、之ニ對シテ主務大臣ガ此議ヲ經テ決定ヲ致シマシテ、且ツ内閣ノ認可ヲ受クルコトニナツテ居リマスルカラ、其際適宜ノ措置ヲスルノ外ハ無イノデアリマス

○江木翼君 私ガ申上ゲルマデモナク、委員會ハ地方委員會モ中央委員會モ共ニ議決機關デアリマス、復興審議會、或ハ參與會、或ハ評議會ト違ヒマシテ、諮問機關デハナイノデアリマス、帝國議會ト同様ニ議決ノ機關デアリマス、内務大臣ガ如何ニ權力ヲ持ッテ居ラレテモ、將又總理大臣ガ如何ニ認可權ヲ持ッテ居ラレヤウトモ、此議決ニ立入ルコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ私ハ無論政府ニ於テ相當考ヘテ居ラレナケレバナラナイコトト思ヒマスルガ、元來抑、私ハ政府ハ斯様ナ方法ヲ御執リニナル考ナシニ是マデハ御居デニナッタノデハナイカト思フ、或ハ審議會ヲ作り、或ハ評議會ヲ作り、參與會ヲ作り、斯様な鄭重ナル手段ヲ以テ案ヲ御作リニナッタト云フコトハ、要スルニ都市計畫ニ依ラズニ別途ノ方法ニ依ラウト云フ途ヲ執リ掛ケテ御居デニナッタモノデアラウト私ハ思フ、斯ノ如クニシテ、初メテ帝國議會ニ出マシテ、此案ガ確定スルニ於テ餘程私ハ趣ノアル案デア、然ラズシテ帝國議會ガ唯委員會ニ掛ケル所ノ草案ヲ作ル、其最終決定權ヲ都市計畫委員會ガ持ッテ居ル、斯ウ云フコトニナリマシテハ吾々ハ實ハ何ヲ議定シツアルカ、頗ル心細キ感ジヲ持ツノデアリマス、私ハ此事ニ付キマシテハ政府委員ノ御答ダケハ分リマシタカラ、是レ以上御尋スル必要ハ無イト思フ、ソレカラ土地區劃整理ニ付テ現行法ニハ其通りデアリマス、私モ十分其點ハ熟讀イタシマシタ、而シテ此區劃整理ナルモノハ耕地整理ヲ適用シテ居ルト云フコトモ政府ニ於テモ御認メニナツテ居ルコトデアラウト思フ、其耕地整理法ナルモノト云フモノハドウデアルカト云フト、是ハ實際ニ當ッタ方ハ澤山居ラレルデアリマセウガ、ココニ作場道ガアル、ココニ用水路ガアル、ココニ惡水路ガアル、之ヲ取變ヘテコッチヘヤル、色々ト此變改ヲスルガ故ニ其代リニナッタ所ノ道路溝渠ト云フモノハ、之ヲ國有ニ編入スルト云フコトガ規定シテアル、ソレデアアルカラ道路ナリ或ハ溝渠ナリ、元アッタ所ノモノト、新シク出來タモノト換地處分ヲ

ヤル、換ヘルト云フコトハ一向差支ヘナイノデアル、是ハ土地區劃整理ナルモノガ、今回ノ如キ大キナル都市計畫ト云フモノヲ豫想シテ居ルノデヤナイノデアリマス、所ガ今回ハドウデアアルカト云フト、土地區劃整理ヲヤラナイデモ、百七十萬坪カラ二百萬坪内外ノ土地ト云フモノヲ收用スルコトニナッテ居ル、假ニ普通ノ狀態ニ於テ、同意ヲ得テヤル場合ニ於テ……同意ヲシナイ場合ニハドウナルカト申シマス、政府ハ百七十萬坪ナリ二百萬坪ノ土地ト云フモノハ、全部有償ニ之ヲ收用シナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトト思フノデアリマス、然ルニ茲ニ所謂土地區劃整理ト云フモノガ中ニ挾マリマシタガ故ニ、其中ノ七十萬坪、八十萬坪ト云フモノヲ無償デ國家ガ之ヲ沒收スルト云フコトニナル、是ハ何ト辯明サレマシテモ、ソレヨリ他ニナイト思フ、斯ノ如キコトヲナサルト云フコトガ、抑、所有權ト云フモノヲ尊重ナサラナイ、所有權保護ノ規定ト云フモノヲ考ヘテ居ラレナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘル、ソレニ對シテ御辯明ガアレバ承ハッテモ宜シウゴザイマス

〔政府委員松本丞治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本丞治君) 唯今江木君ノ最初ニ述ベラレマシタ點ニ付テハ別ニ答辯ヲ御要求ニナラナカッタヤウデアリマスガ、其中ニ此都市計畫委員會ハ最終ノ決定權ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、是ハ大イニ誤ッテ居ルノデ、左様デハナイ、都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣ガ之ヲ決定スル、而シテ内閣ノ認可ヲ受クルト云フコトニナッテ居ルノデアアルカラ、ソレニ付テ御誤解ノナイコトヲ希望イタシマス、而シテ政府ハ初メヨリ斯ノ如キ計畫デハナカッタラウト云フ御話ガアリマシタガ、左様デハナイ、初メカラ此計畫ヲ以テ進ム積リデアッタノデアリマス、次ニ御問ノ方ハ耕地整理法ニ依リマスレバ、大イナル道路ヲ造ルト云フヤウナコトハ無インダト云フ御話デアリマシタガ、耕地整理法ニ於キマシテモ、從來ノ道路ト比較イタシマスレバ、餘程大キナ道路ガ造ラレル、又大キナ溜池其他ノモノガ造ラレルト云フ例ハ頗ル多イノデアリマス、必シモ耕地整理法ニ依ル場合ニ於キマシテ、大道路其他ガ出來ナイモノデハナイノデアリマス、而シテドウモ先程私ガ申シタコトガマダシツカリ徹底シテ御了解ニナッテ居ラヌカト思ヒマスルガ、都市計畫法ハ組合ニ依ッテノミ土地區劃整理ガ出來ルノデアルト云フヤウニ御了解ニナッテ居ルノカト思ヒマスガ、左様デハアリマセヌ、土地區劃整理……都市

計畫法ニ依リマシテ、行政廳、又ハ公共團體、又ハ組合等ガ之ヲ施行スルコトガ出來ル、即チ都市計畫デ……都市計畫事業トシテ之ヲ施行シ得ルノデアリマス、故ニ行政廳ガ之ヲ施行スルト云フコトハ、既ニ都市計畫法ニ認メテ居ル所デアッテ、此場合ニ於キマシテハ、從來ノ宅地ガ減少サレマシタ程度ニ付テハ、何等都市計畫法ノ方デハ制限ヲシテ居ラス、即チ一割ヲ超エテモ補償ト云フ問題ハ生ジナイ、本法案ニ於テハ之ヲ制限ヲシマシテ、一割ヲ超エタ時ニハ補償ヲスルト云フコトニシテ居ルノデ、即チ先程、江木君ハ本法案ヲ以テ頗ル不妥當、違憲トモ云フベキ法案ト仰シヤッタノデアリマスガ、寧ろ都市計畫法ヨリモ餘程私人ノ權利ヲ、其點ニ於テハ重シテ居ル法律デアルト思ヒマス、其點ニ付テ十分御了解アラムコトヲ希望スルノデアリマス

○江木翼君 政府委員ガ如何ニモ御了解ガナイノヲ悲シムモノデゴザイマスガ、私ト雖モ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ內務大臣ガ計畫ヲ定メルト云フコトハ承知イタシテ居リマス、サリナガラ議ヲ經ナケレバナラヌ、議ハ議決ナンデアル、決シテ諮問スルノデハナイノデアアル、政府ノ頭デハ委員會ナリ、中央委員會ナリ、地方委員會ナリト云フモノハドウモ官選ノモノガ多ク居ルノダ、ダカラ政府ノ言ヒナリニナルノダ、マア都市計畫ナント云フモノハ自治デナイ、官治ナンダ、內務大臣ハ官選ノ都市計畫委員長デアアルノダ、斯ウ云フヤウナ御考デ或ハ居ラレルノカ知レマセヌガ、ソレハ私ハ此法律ガ委員會ヲ設ケテ居ル所ノ趣旨ヲ蔑視セラレル次第デハナイカト思フノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テハ重ネテ申ス必要ハアリマセヌ、アリマセヌガ、如何ニモ此耕地整理ナリ、區劃整理ノコトニ付テ無理解デ居ラレル、從來耕地整理ナンゾガアリマシタ場合ニ、一割ナリ一割五分ナリノ耕地ヲ道路ナリ或ハ堤塘ナリノ敷地ニ編入スルト云フヤウナコトハアルモノデハナイ、又縦シアッテモ、ソレハ總テ其私有地ノ利用ヲ増ス爲デアアル、所ガ今回ノ計畫ハドウデアアルカト云ヘバ、燒跡ニ大キナル都市計畫ヲヤラウ、之ニ百七十萬坪要ルノダ、其中ノ七十萬坪ハ先ヅ以テ地主ニ頭割リニ掛ケテアルノダ、斯ウ云フコトナンデアリマス、從來ノ耕地整理ヤ、或ハ淺草ノ燒跡ニアリマシタ所ノ區劃整理ナドトハマルデ違ヒマス、從來ノ區劃整理ナルモノハ、ドウデアアルカ、唯露地ヲ整理シテ、或ハ茲ニ二間幅三間幅ノ道路ヲ作ルト云フモノナンデアリマス、所ガ今回ハ全ク道ノ無イヤウナ所ニ持ッテ行ッテ二十四間幅、十八間幅ノ道路ヲ作ルノデアアル、ソコデ其必要ナル潰地ハ地主カラ一割ト云フモノヲ先ヅ以テ

天引シテ取ッテ仕舞フノデアル、是ハ私ハ何トシテモイカスト思フノデアリマス、斯様ナコトヲ法律デヤリマシタ場合ニハ、必ズ後デ禍ガ起ルモノデアリマス、本議場ハ左様ナル問題ニ付テ屢々受ケタノデアリマス、山林ノ下戻シ、秩祿處分ノ下戻シハ屢々受ケタ、ソレハ何デアルカト云フト、法制ノ缺陷ヲ後デ議會ガ尻拭ヒヲシタノデアリマス、私ハ敢テ茲ニ斷言ヲシテ置イテ宜イ、ココ數年ヲ出デズシテ、此一割ヲ取戻スト云フ要求ガ東京市民カラ蔚然トシテ起ルト云フコトヲ私ハ斷言ヲシテ宜シイト思フ、斯様ナコトハ私ハ甚ダ申シタクナイノデアリマスガ、此法律案ハ甚ダ其點ニ付テハ惡イ、斯様ニ斷言ヲ致シマス

○水野鍊太郎君 唯今江木君ノ質問ニ對シテ松本政府委員ノ御答辯ガアツタノデアリマスガ、此御答辯ニ對シテハ政府ノ意見トハ認メマスガ、果シテ御答辯ヲ總理大臣若クハ内務大臣モ認メラレテ居ルノデアルカドウカト云フ私ハ御答ヲ得タイ、是ハ法律家ノ答辯トシテハ一應意味ハナシテ居ルト思フ、併ナガラ江木君カラ言ハレマスガ如クニ、果シテ左様ナルコトデアリマスレバ、今後政府ハ非常ニ御困リノ立場ニ陥リヤシナイカト云フコトヲ私ハ憂フルノデアリマス、丁度審議會ノ決議、若クハ帝國議會ノ決議、評議會ノ決議、種々ナ點ニ於テ御困難ヲ今日デモ御感ジニナツテ居ルト思ヒマスガ、今後尙ホ一層御面倒ナコトニナリハセスカト私ハ衷心ヨリ憂ヘルノデアリマス、終局、帝國議會ノ決議ト、先程ノ御答辯ニ依リマスレバ、都市計畫委員會ノ決議トノ間ニ矛盾衝突ガ行ハレマシテ、政府ハ非常ニ困ッタ立場ニ陥リハシナイカ、政府ガ困ッタ立場ニ立ツコトハ假リニ宜シイト致シマシテモ、是ガ爲ニ帝都復興ノ進行ニ支障ヲ來シハシナイカト云フコトヲ私ハ憂ヘルノデアリマス、折角我々ハ東京帝都ノ復興ニ衷心ヨリ同情ヲ表シ、一日モ速ニ是ガ復興ノ舉ラムコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、此度、總理大臣ハ誠意ヲ以テ衆議院ノ修正ヲ御認メニナリ、審議會ノ決議ニテ服從ニ相成ッタノハ、全ク帝都ノ復興ヲ一日モ速カナラシメタイト云フ誠心誠意ヨリ御出ニナツタコトト衷心ヨリ總理大臣ノ所謂誠心誠意ニ敬意ヲ表シテ居ルノデアアル、然ルニ唯今、松本法制局長官ノ御答辯ニナリマシタコトデアリマスルト、今後私ハ非常ニ御困リニナルコトト憂ヘルノデアアル、政府ノ御困リハマダ宜イケレドモ、帝都復興ノ事業ニ支障ヲ來タスト云フコトヲ私ハ非常ニ衷心ヨリ憂ヘテ居ル、左様デアリマスカラ松本政府委員ノ答ヘラレタコトハ果シテ總理大臣

ノ意思デアルカ、果シテ内務大臣ノ意思デアルカト云フコトヲ一言承ハリタイト思フ、希ハクハ私ハモウ少シ慎重ニ御考慮ニナツテ御答ニナツタラ如何デアラウカト思フ、江木君ノ御質問モ實ニ此點ヲ憂ヘテ居ラルルコトト思フ、私モ此答辯ヲ聞キマシテ實ニ之ヲ憂ヘテ居ルノデアリマス、希ハクハ慎重ニ御考慮ニナツテ御答辯ニナツテハ如何カト云フコトヲ私ハ憂ヘマスル爲ニ、茲ニ一言先ヅ事實ヲ御質問スル次第デアリマス

〔國務大臣子爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵後藤新平君) 唯今、水野鍊太郎君ヨリ實際上ニ顧ミテ帝都復興ノ事業ノ完成ノ上ニ、松本政府委員ノ答辯ノ如クデアツテハ支障ヲ生ジハセスカト云フコトヲ憂ヘル、斯ウ云フコトデ、果シテ是ガ總理大臣若クハ内務大臣ノ意思デアルヤ否ヤト云フヤウナ御尋ダト考ヘマス、此點ニ對シマシテハ政府ニ於テハ法理ノ研究上ニ付テ松本政府委員ノ解釋セラレタヤウニ考ヘテ居リマス、而シテ是ガ實行ニ付テ、支障ヲ生ズル點ニ付テ考慮スベキモノハ考慮スル積リデ居ルノデアリマス、此上ノ所ドノ邊ニ支障ヲ生ズルカニ付テ政府モ十分ニ考慮ハ致シテ居リマスガ、尙ホ法理ノ解釋上カラ其支障ヲ推測スルバカリデハイカヌノデアリマスカラ、此實行上ニ付テ如何ナルコトガアルカ、又之ヲ如何ニ圓滿ニ行フカニ付テ方法ガアルカハ十分考慮スル積リデアリマス、併ナガラ此答辯ノコトニ付テハ之ヲ尊重イタシマシテ之ニ依ッテ其支障ノ無キヤウニ考慮ヲシテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、如何ナル支障ガ來タルヤ否ヤト云フコトニ付テ或ハ其足ラザル所ノモノガアリマシタナラバ能ク考慮ヲ致ス積リデ居リマス

○淺田德則君 本案ノ特別委員ノ數ハ十五名トシ、議長ニ於テ指名セラレムコトヲ望ミマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 淺田德則君ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

帝都復興計畫法案特別委員

伯爵松本 宗隆君 子爵水野 直君 子爵大河内正敏君

男爵坂本 俊 篤君 和田 彦次郎君 男爵古市 公威君
男爵斯波 忠三郎君 神野 勝之助君 男爵郷 誠之助君
若槻 禮次郎君 伊澤 多喜男君 永田 秀次郎君
片岡 直輝君 藤山 雷太君 安田 善三郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第二復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十二年十二月二十日

衆議院議長 粕谷 義三

第一條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ復興事業ノ施行ニ伴ヒ土地所有者其ノ他ノ利害關係人ニ支拂フヘキ補償金其ノ他ノ金額ヲ五分利附國債券ヲ以テ交付スルコトヲ得

第二條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシテ公債ヲ發行スルコトヲ得但シ其ノ總額ハ震災善後公債法ニ依リ發行スル公債又ハ借入金ト通シテ同法ノ規定スル制限額ヲ超ユルコトヲ得ス
震災善後公債法第二條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行ニ付之ヲ準用ス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井上準之助君) 茲ニ議題トナリマシタ復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關シマシタル法律案ニ付テ其大要ヲ説明イタシタイト考ヘマス、本案ハ帝都復興事業ヲ施行スルニ伴ヒマシテ政府ガ土地所有者其他ノ利害關係人ニ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル爲ニ必要ナル規定ヲ設クルノ趣旨ヲ以テ提出シタノデアリマス、今回ノ復興事業ニ關係イタシマシテハ多額ノ資金ヲ支出スルコトデアリマスルカ

ラ、政府ハ一面ニ於キマシテハ通貨ノ膨脹ヲ防グガタメ、又一面ニ於キマシテハ國債募集ヲ調節スル爲ニ現金ニ代ヘマシテ國債證券ヲ以テ交付イタシタイト云フ考デ居リマス、然レドモ總テノ場合ニ必シモ國債證券ヲ交付スルノ趣意デハナイノデアリマシテ、其實行ニ付キマシテハ勅令ヲ以テ細密ノ規定ヲ設クル考デアリマスノデアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 此特別委員ハ日程第一ノ帝都復興計畫法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、震災善後公債法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

震災善後公債法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十二年十二月二十日

衆議院議長 粕谷 義三

震災善後公債法

第一條 震災ニ伴フ復興事業ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ四億六千八百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得
第二條 前條ノ規定ニ依リ公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井上準之助君) 唯今、日程ニ上リマシタ震災善後公債法案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、今回ノ震災ニ基ク復興事業ニ關スル經費ハ頗ル巨額ニ上ボリマシテ、現時ノ財政狀態ニ於キマシテハ普通ノ財源ニ依リ之ヲ支辨スルコトガ不可能デアリマスルカラ、政府ハ是ガ財源ヲ公債ニ求メル方針ヲ定メマシテ、總額五億九千八百萬圓ノ起債ニ關スル法律案ヲ提出イタシタ

ノデアリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ、復興豫算ノ修正ニ伴ヒマシテ、右ノ總額ヲ四億六千八百五十萬圓ニ修正サレタノデアリマス、政府ハ之ニ同意ヲ表シマシタ、本案ハ復興事業ノ遂行上、緊急已ムヲ得ザルモノデアリマスカラ、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 此特別委員モ日程第一ノ法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、大正十二年勅令第四百二十四號承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議

大正十二年勅令第四百二十四號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依リ日本銀行ノ手形ノ割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル財政上必要處分ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

攝政名

大正十二年九月二十七日

内閣總理大臣	伯爵	山本 權兵衛
內務大臣	子爵	後藤 新平
文部大臣		岡野 敬次郎
海軍大臣		財部 彪
陸軍大臣	男爵	田中 義一
農商務大臣	男爵	田 健治郎
逓信大臣		犬養 毅
司法大臣		平沼 騏一郎
鐵道大臣		山之内 一次
大藏大臣		井上 準之助

勅令第四百二十四號

外務大臣 男爵 伊集院 彦吉

政府ハ日本銀行カ左ノ各號ノ一ニ該當スル手形ニシテ大正十四年九月三十日以前ノ満期日ヲ有スルモノノ割引ヲ爲シ之ニ因リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ壹億圓ヲ限り同行ニ對シ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得但シ第一號乃至第三號ニ規定スル手形ノ割引ハ大正十三年三月三十一日迄ニ爲シタルモノニ限ル

- 一 震災地(東京府、神奈川縣、埼玉縣、千葉縣及静岡縣ヲ謂フ以下同シ)ヲ支拂地トスル手形又ハ震災地ニ震災ノ當時營業所ヲ有シタル者ノ振出シタル手形若ハ之ヲ支拂人トスル手形ニシテ大正十二年九月一日以前ニ銀行ノ割引シタルモノ
- 二 前號ニ規定スル手形ノ書換ノ爲ニ振出シタル手形
- 三 前二號ニ規定スル手形又ハ震災地ニ營業所ヲ有スル銀行カ他ノ銀行ニ對シ大正十二年九月一日以前ニ發行シタル預金證書若ハ「コールローン」ノ證書ヲ擔保トシテ銀行ノ振出シタル手形
- 四 前三號ニ規定スル手形ニシテ日本銀行ノ割引シタルモノノ書換ノ爲ニ振出シタル手形

附則

日本銀行ハ本令ニ依リテ爲ス手形ノ割引ニ付政府ノ監督ヲ受クヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○國務大臣(井上準之助君) 唯今、議題トナリマシタ大正十二年勅令第四百二十四號ノ承諾ヲ求ムル案ニ付キマシテ説明ヲ致シタイト思ヒマス、今回ノ大震災ニ依リマシテ、被害地方初メ全國經濟界ニ及ボシマシタル影響ハ極メテ大ナルモノガアリマス、就中罹災地方ニ於キマシテ金融ハ御承知ノ通り甚シク梗塞イタシマシテ、財界ハ全ク不安ニ陥リマシタ故ニ、政府ハ取敢ヘズ支拂猶豫ニ關スル緊急勅令ノ發布ヲ仰ギマシテ、以テ一時ノ應急ノ策ヲ講ジマシタガ、右ハ永ク其効力ヲ有セシムベキモノデアリマセヌノデ、而カモ該勅令ノ有効期間ノ經過スルト同時ニ再ビ極端ナル金融上ノ遺憾ヲ來スベキハ明白デアリマスカラシテ、臨機ノ處置ト致シマシテ本勅令ガ公布セラレタノデアリマス、即チ是ガ善後ノ處置ト致シマシテハ、震災ニ依リマシテ、資産上異

常ノ損害ヲ被リマシタル商工業者等ヲ債務者ト致シマスル手形デアリマシテ、一般銀行ノ割引シタモノヲ日本銀行ヲシテ臨機非常ナ手段ト致シマシテ、條例ニ依ラズシテ是ガ割引ヲ爲サシメマシテ、而カモ其手形ハ今後二箇年間、其取立ヲ猶豫セシムルコトト致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ其手形ノ債務者デアリマス所ノ商工業者等ハ其猶豫期間中ニ其資産ヲ整理イタシマシテ、支拂能力ノ恢復スルノ機會ヲ與ヘタノデアリマス、又此種ノ手形ノ割引ヲ致シマスル一般銀行ハ之ニ依リマシテ、急ニ回收スルコトノ困難ナル手形ヲ資金化スルコトガ出來ルノデアリマシテ、其窮迫ヨリ救済セラレタコトト信ジテ居リマス、併ナガラ我國中央銀行ト致シマシテ、經濟上最モ重要ナ位置ニアリマスル日本銀行ヲシテ、或ハ是ガタメ多大ナ損害ヲ被ラシメ、其重要ナル位置ヲ危殆ナラシムルガ如キ不安ヲ抱キマシテ、十分其機能ヲ發揮スルコトヲ得ナイト云フコトガアリマシテハ、甚ダ憂フベキコトデアリマスカラ、故ニ日本銀行ヲシテ右ノ臨機ノ手段ヲ執ラシメマスルト同時ニ、之ニ依リマシテ將來同行ニ於ケル所ノ損失ニ對シマシテ、相當ノ程度ニ於テ政府ヨリ之ヲ補償スルコトト致シマシテ、一面、金融界ノ難局ヲ救済イタシマスルト同時ニ、又他面、我が中央銀行ノ位置ヲ確保スルコトガ緊要ト考ヘマシテ、本勅令ヲ發布シタ次第デアリマス、ドウゾ御審議ノ上、御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○男爵毛利五郎君 私ハ緊急勅令ハ甚ダ當ヲ得タモノト存ジテ居リマスガ、實際ニ於キマシテ日本銀行ノ貸出補償額ガ半額ニモ達シテ居ラスト云フ次第デアリマス、折角、斯ノ如キ勅令ヲ御出シナリマシテ、此帝都復興及商業上ノ復興其他ニ對スル便宜ヲ與ヘラレテ居リマスルガ、如何ニモ半額以下ト云フコトハ少イデハナイカト思フノデアリマス、折角、政府モ是ダケノ御好意ヲ持ッテ御居デニナルノニ何故ニ貸付高ガ少イノデアルカ、私ノ承ハッテ居ル所ニ依リマスルト、此貸付高ハ現今マデニ四千二百萬圓位ニナッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、其折角ノ一億萬圓マデノ最高額ニ近イ所ニ達シテ居ラスト云フコトハ、日本銀行ノ貸付手續ニ於キマシテ非常ナル嚴格ナル手續ヲ執ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレハ如何デゴザイマスカ、ソレ程ノ御好意ヲ政府ガ持ッテ、商工業ノ援助ヲサレルコトニ付テ、何故ニ日本銀行ノ金融ノ手續ニ於テ、即チ從來執ッタヤウナ非常ナ酷ナ取扱ヲシテ居ラレルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、結局ソレデハ何ニモナラスト

思ヒマスガ、如何ニ政府トシテハ其點ヲ御考ニナッテ居リマスカ、又第二ニ伺ヒタイノハ將來、今年ハ仕方ガナイ、マダ七千二百萬圓……

〔山脇玄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公府德川家達君) 唯今、毛利男爵ノ發言中デゴザイマスカラ暫ク御待チテ願ヒマス

○男爵毛利五郎君 來年度ニ於キマシテ、事ニ依リマスルト、又一方ニハ殖エルト云フコトモアラウト思ヒマス、日本銀行ノ手續ガ嚴重ナ爲ニ借手ガ無イト云フコトデアリマスガ、又一方ニ於テハ金融ガソレ程逼迫シテ居ラス爲ニ、借手ノ少イト云フ點モアラウト思ヒマスガ、來年度ニ於テ是ガ非常ニ殖エル時ニ一億圓ニ止メテ置キマスカ、ドウデアリマスカ、此二點ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井上準之助君) 唯今ノ毛利男爵ノ御問ニ對シテ御答イタシマス、モト此補償額ヲ一億ト定メマシタノハ、非常ナ詳細ノ調査ヲ致シマシテ、此緊急勅令ニアリマス總テノ項目ヲ調べ得タノデアリマスガ、ソレガ二十一億ト云フ數字ニナリマシテ、其中デ四分ノ一即チ五億位ノ割引ヲシタナラバ、此時局ヲ收メルコトガ出來ルデアラウト豫想イタシマシテ、一億ト云フ補償額ヲ定メタノデアリマス、就キマシテハ唯今ノ最近ニ割引イタシテ居リマス高ハ九千二百萬圓デアリマシテ、是ハ豫想デゴザイマスルガ、此年末ニ至リマシタナラバ、モウ少シ殖エルト考ヘマス、又此最終期限ノ來年ノ三月三十一日マデニ又餘程殖エルト云フコトヲ豫想イタシテ居ル次第デアリマス、ソレデ唯今、日本銀行ノ割引手加減ト云フモノニ付テ色々ナ御説ガアリマシタノデアリマスガ、御説ノヤウニ敢テエライ平時ノヤウナ心持デ嚴重ニ、嚴格ト申シマスカ、致シテ居ル次第デアリマセス、ソレカト申シマシテ、又餘リ放漫亂雜ニ致サレテモ居ラスノデアリマシテ、此點ニ付キマシテハ命令書モ嚴重ナ命令書ガアリマシテ、大藏省デモ十分監督イタシテ居ル次第デアリマス、而シテ第二ノ御問ノ一億圓ノ補償額ヲ他日殖ヤス考ガアルカト云フ御尋デアリマシタガ、唯今申上ゲルヤウナ事情デゴザイマシテ、今日ニ於キマシテ一億圓ノ金額ヲ殖ヤストカ云フヤウナコトハ唯今ノ場合考ヘテ居リマセスノデゴザイマス、ドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○山脇玄君 毛利男爵誠ニ重要ナ御質疑ト思ヒマシテ、ソレヲ拜聽シタイ爲

ニ御登壇ヲ議長カラ御勸メニナツテハドウカト云フコトヲ建議シタイト思ツタ
ノデアリマシタ……

○議長（公爵徳川家達君） 山脇君ノ御趣意ヲ議長ハ了解イタシマセヌデ失禮
イタシマシタ、惡シカラズ御諒承ヲ請ヒマス

○議長（公爵徳川家達君） 此特別委員ハ大正十二年勅令第四百十號外一件ノ
特別委員ニ付託イタシマス、次ノ議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及
ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午前十一時三十一分散會